

市野新田ダムだより 26号



株式会社フジタ 東京支店
市野新田ダム作業所
電話 0257-29-2861

平成28年10月 秋号

市野新田ダムの進捗について

堤体盛立工は9月から遮水性ゾーン一般部の施工を開始しました。月稼動日数は悪天候の影響を受け、半月程度で9月末時点での遮水性ゾーンの進捗は1,000m³(設計41,500m³)となっています。施工中の品質管理として、当ダムでは盛立管理システムをローラー(土を締固める機械)に採用しています。運転席のモニターを確認することで、規定の転圧回数を確実に施工出来るようにしています。また、遮水性材が湿潤側の場合、乾風丸(搭乗式送風機)により送風乾燥をしています。

堤体では左右両岸で、10月に行われる基礎地盤検査範囲の掘削が完了し、検査に向けて準備を進めています。また、基礎処理工(セメントミルクの注入)は、堤体上部の地盤を昼夜勤で進めています。

構築工は、取水設備のコンクリート打設が完了し、設備業者がゲート設置を開始しました。洪水吐は、越流部・調整部を施工中です。積雪までの限られた期間を無駄の無いよう工程管理を進めています。

11月3日には定礎式を迎えます。当現場の一大イベントとして立派な式典となるよう、所内一致団結して作業を進めていきます。



柏崎市 ダム見学会

平成28年10月10日



10月10日、柏崎周辺地区国営土地改良事業推進協議会が募集したダム見学会に、柏崎市内外より40名が参加者されました。栃ヶ原ダムの後、市野新田ダムに来られ建設中のダムの様子を見学されました。最後に、堤体上流の盛立に使う石にそれぞれのメッセージを記入して頂きました。

ダムが完成したら是非また見学に来て下さいね(〇〇)

綾子舞 現地公開 国指定40周年記念

平成28年9月11日

祝 綾子舞国指定40周年



綾子舞は、国の重要無形民俗文化財の指定を受けてから今年が40周年ということでした。午前午後には渡りさまざまな踊りが披露され記念式典も催されました。職員も前日当日と地元の皆様との準備や販売に参加させて頂きました。40周年記念の年に参加する事ができとても光栄でした。



綾子舞の現地公開が終わり、秋の様相が色濃くなってきました。一雨ごとに寒さが増して冬が近づいてきているのを感じます。現場では11月3日には定礎式を迎えます。そもそも定礎とはヨーロッパで始まった石造建築における建物の基準位置を定める儀式に由来しているそうです。建築物では敷地内に定礎石が埋まっていたりするのを見かけますがダムの場合は定礎石は堤体内に埋め込まれてしまいますので、完成後にはまず見ることが出来ないのです。定礎式ではそれまでの工事の安全に対する感謝と後の仕上げの工事の安全を祈ります。そして工事関係者や地元の方々の思い、祈り、希望が詰まった定礎石を、ダムに埋めるのです。定礎式が終わると工事も折り返し、完成に向けて一層の忙しさを迎えます。今年も残り2ヶ月ほどになりました。一年が経つのがとても早いです。貴重な秋の1日1日を、慎重に大切に安全に確実に工事を進めていく所存ですので今後とも宜しくお願い致します。